



臨時
議会

常任委 = 総務委員会
特別委 = 高齢・少子化対策特別委員会
審議会 = 都市計画審議会

先の岐阜市議選で当選を頂いた現職31名、元職4名、新人3名、合計38名による今任期（平成27年5月2日～平成31年5月1日迄）が始まりました。5月22日には臨時議会が招集され、正副議長選挙と常任委員会・特別委員会の正副委

員長の互選が行われました。和田直也は、任期1年の常任委員会は「総務委員会」に、任期2年の特別委員会は「高齢・少子化社会対策特別委員会」に、任期1年の審議会は「都市計画審議会」にそれぞれ選任を頂きました。総務委員会では「市庁舎

建設等」について、高齢少子化社会対策特別委員会では「人口減少における学校統廃合等」について、都市計画審議会では「都市計画道路の見直し等」いずれも今後の市政における重要案件を多面的・多角的に審議します。

続いて、会派構成についてです。26歳初陣と4年前の2期目の選挙戦では「若い子に頑張ってもらいたい」その声に誠実に

応えるため「クラブ青空」を掲げました。3期目の今回は「若さ前面」からは卒業し、中長期的な岐阜市全体像を構想する7つの基本柱を基に、政策本位の選挙戦を進めました。今後は、**県政、国政との関わりも明確にするため、日頃よりご縁の強い自民党支持を得ての選挙戦に臨みました。**ということで、会派については自民会派への参加を申



し出しましたが、会派所属議員投票の結果、認められませんでした。そこで、「自由民主・クラブ青空」を旗揚げすることにし、届け出が完了。許された+4年という時間をひきつづき岐阜市政に捧げ、まい進したいと思います。

新市
庁舎

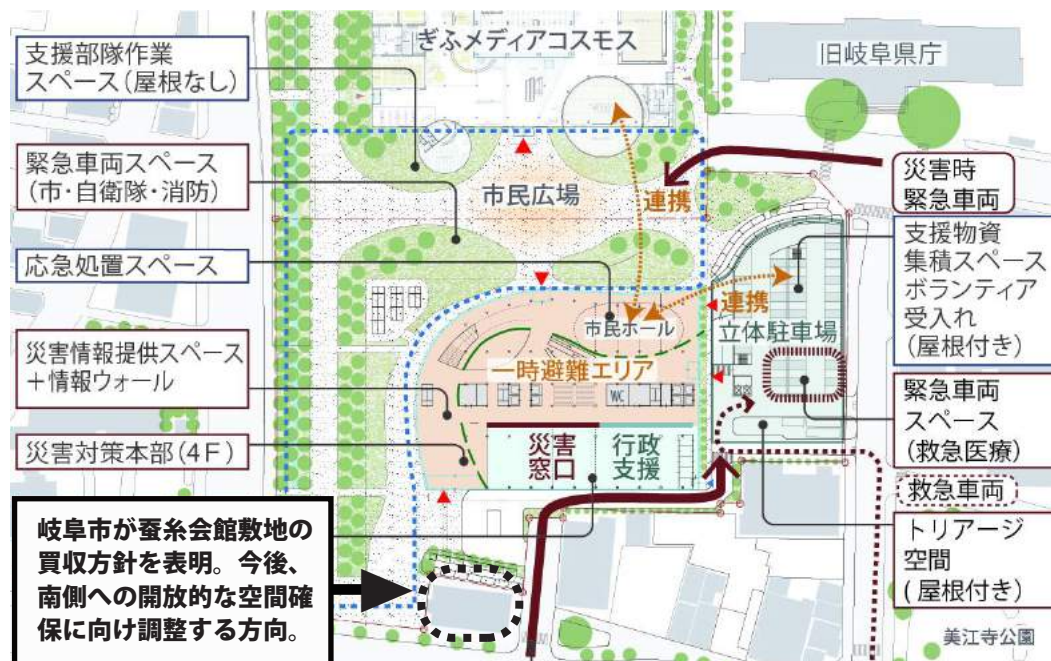
低層階(9~10階建て)案採用 今夏、市民意見交換会を開催へ

公募型プロポーザルによる新市庁舎建設設計者の選考結果が公表されました。①つかさの森、②市民の方舟、③交流の丘、④広い執務スペース、⑤地・水・光・風と共生する建



築の5本柱によるコンセプトで構成。当初、市が説明していた「20階超の高層庁舎」とは異なり、「低層階建て庁舎」が原案・叩き台として選ばれました。周辺の景観調和、防災、事務機能の点において、市議会でもたびたび「高層化には疑問が多い。1階あたりの面積を増やしフラットに、低層階に抑えることが望まし

い」と提案し、先の市議選における選挙公報でも「新市庁舎・高層化阻止と適正規模化を進めます」と明記した立場としては、大変良かったと思います。今後、市は提案文書に基づいて、今夏を目安に市民意見交換会を開催し、最終的に来年3月には基本計画をまとめる方針。今回選ばれた案を叩き台に、主には業者側と市側とで協議が進むため、ひきつづき市議会を通じて注視したいと思います。



和田直也の手作り議会だより 平成27年 夏号 No.1 + YouTube 版 も 配信中!

〒500-8879 岐阜市徹明通 6-1 善福寺ビル 1F TEL+FAX: 058-251-2638 E-mail: office@wada-naoya.jp

未来の声に応えるために!
和田直也 検索